

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●飯田祐史調教師がJRA通算100勝を達成

10月10日(土)の4回京都1日・第10レースとして行われた長岡京Sではメイショウオーパスが1着となり、同馬を管理する飯田祐史調教師(栗東)は、現役153人目となるJRA通算100勝(延べ1505頭目)を達成しました。

### ●1日に3きょうだいが勝利

10月10日(土)、繁殖牝馬マルモセーラの子が3頭出走し、いずれも勝利を飾りました。まず京都・第1レースの2歳未勝利でマルモルーラー(牡2歳/父ルーラーシップ)が1着となり、新潟・第3レースの1勝クラスではマルモマリア(牝5歳/父ヨハネスブルグ)が優勝、さらに京都・第7レースの1勝クラスをマルモネオフォース(牝4歳/父ワークフォース)が制しました。同じ母の産駒が1日に3勝をあげるのは、グレード制を導入した1984年以降では初めてのこととなります。

### ●ダイアトニック、ローズプリンスダムが故障

2019年毎日放送賞スワンS(GⅡ)などの勝ち馬ダイアトニック(牡5歳/栗東・安田隆行厩舎)は、右第1趾節種子骨々折を発症していることが判明しました。今後9か月以上の休養を要する見込みです。2017年レパードS(GⅢ)の勝ち馬ローズプリンスダム(騾6歳/美浦・畠山吉宏厩舎)も、右第1趾節種子骨々折を発症していることが判明しました。今後9か月以上の休養を要する見込みです。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●南部杯(盛岡)でアルクトスが昨年2着の雪辱、JpnⅠ初制覇

マイルチャンピオンシップ南部杯(JpnⅠ、10月12日、盛岡、1600m)は、4番手を進んだ6番人気のアルクトス(田辺裕信騎手、牡5歳、父アドマイヤオーラ)が、先に抜け出した2番人気のモズアスコットをゴール前でクビ差捉え、1分32秒7の日本記録で快勝。1番人気に推された昨年の覇者サンライズノヴァは4着、ワンダーリーデルは5着、3番人気のゴールドドリームは6着、ワイドフアラオは7着、逃げたインティは9着に敗れています。

### ●地元北海道のソロユニットがエーデルワイス賞(門別)を圧勝

エーデルワイス賞(JpnⅢ、2歳牝馬、10月15日、門別、1200m)は、3番手から4コーナーで先頭に立った北海道所属馬ソロユニット(阿部龍騎手、父アジアエクスプレス)が後続を4馬身引き離し、1番人気に応じてリリーCに続く重賞2連勝。ミコブラックが2着に入り、3番人気のラストリジョは4着、ホーキーボーキーは14着、逃げたマウンテンムスメは最下位の15着でした。

### ●ダービーグランプリ(盛岡)は地元岩手のフレッチャビアンカ

ダービーグランプリ(10月4日、盛岡、2000m)は、4番手から残り200mを切った辺りで抜け出した3番人気の岩手所属馬フレッチャビアンカ(牡、父キンシャサノキセキ)が、単勝1.6倍で断然人気のティーズダンク(浦和)を4馬身引き離し、重賞3連勝を達成。

### ●ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンドの結果

2020ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンド船橋は9月29日に実施され、第1戦は秋山稔樹騎手(美浦)、第2戦は池谷匠翔騎手(川崎)が優勝。10月14日に行われたトライアルラウンド名古屋は、第1戦を金山昇馬騎手(佐賀)、第2戦を団野大成騎手(栗東)が制しています。

※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●G1デューハーストS~セントマークスバシリカがG1初制覇

10月10日にイギリスのニューマーケット競馬場で行われたG1デューハーストS(2歳、芝1400m)はL.デットーリ騎手を鞍上にして中団でレースを進めたセントマークスバシリカ(牡、父シユーニ、愛A.オブライエン厩舎)が $\frac{3}{4}$ 馬身差で優勝。重賞初制覇をG1で飾りました。昨年の英2000ギニー馬マグナグレシアの半弟にあたるセントマークスバシリカは、10月4日にフランスで行われたG1ジャンリュックラガルデル賞への出走を予定していましたが、オブライエン厩舎で与えていた飼料に禁止薬物が混入していたことがレースの3日前に判明。出走した場合、禁止薬物の陽性反応が出る可能性があることから、同レースの回避を余儀なくされていました。

### ●G1ジョッキークラブGC~ハッピーセーバーがデビュー4連勝

米国ニューヨーク州のベルモントパーク競馬場で10月10日に行われたG1ジョッキークラブゴールドC(3歳上、ダート2000m)はI.オルティスJr.騎手を背に5頭立ての3番手で流れに乗ったハッピーセーバー(牡3歳、父スーパーセーバー、T.プレッチャー厩舎)が直線で内ラチ沿いから抜け出して $\frac{3}{4}$ 馬身差で優勝。今年6月のデビューから4連勝でのG1初制覇となりました。